



平成 22 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 日本高周波鋼業株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 池田 辰雄
 コード番号 5476
 問 合 せ 先 常務取締役管理部長 田中 慶壽
 (TEL. 03-5687-6025)
 当社の親会社 株式会社神戸製鋼所
 代 表 者 名 取締役社長 佐藤 廣士
 コード番号 5406

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 4 月 28 日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	28,500	△2,050	△2,150	△2,400	△16.36
今回修正予想 (B)	28,700	△2,150	△2,200	△2,600	△17.73
増 減 額 (B-A)	200	△100	△50	△200	—
増 減 率 (%)	0.7%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	48,747	△134	△224	△1,560	△10.64

(2) 個別業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	22,000	△1,400	△1,500	△1,750	△11.93
今回修正予想 (B)	21,300	△1,750	△1,800	△2,150	△14.66
増 減 額 (B-A)	△700	△350	△300	△400	—
増 減 率 (%)	△3.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	37,223	△237	△149	△752	△5.13

(3) 修正の理由

需要環境全般は自動車向けや電子材料向けなどで回復基調にありますが、その回復度合いは前回予想に比較して遅れ気味となっております。こうした状況において連結業績については前回想定に比較して特殊鋼部門では、数量減などにより売上高が減少する見込みであり、また、ニッケルなど原材料価格のアップなどもあり、損益も悪化する見通しです。一方、鑄鉄部門が売上高、損益とも改善する見込みであり、通期の連結業績予想は若干の修正となります。なお、個別業績予想については、上記特殊鋼事業の状況から、売上高、損益とも悪化する見込みです。

2. 平成 22 年 3 月期の配当予想の修正

当社は業績水準や配当性向とともに、持続的成長のための投資資金としての内部留保も考慮し、安定的・継続的に剰余金の配当を行なうことを基本方針としております。

平成 22 年 3 月期の配当につきましては、前記の厳しい業績状況を踏まえまして、誠に遺憾ではございますが見送る方針とさせていただきます。

基準日	1 株当たり配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	年 間
前回発表予想 (平成 21 年 10 月 20 日)	0.0	(未定)	(未定)
今回修正予想	0.0	0.0	0.0
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 21 年 3 月期)	0.0	1.5	1.5

※本業績予想につきましては当社が現状で判断しうる一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります旨、ご理解願います。

以 上